



「国立市保育整備計画」では、2園目以降の公立保育園の民営化については、1園目（矢川保育園）の評価を行ったうえで順次進めていくこととしています。その評価検証を行うため開催している「国立市保育審議会」の内容をお伝えするため、市は、「保育審議会だより」を発行しています。

今号では、7月30日に開催された第2回保育審議会の内容についてお伝えします。第2回保育審議会では、「社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団」から事務局長と矢川保育園園長をお呼びし、現在の事業団、矢川保育園の状況についてご説明をいただきました。

くにたち子どもの夢・未来事業団からの報告

（1）事務局長からの報告

- ・ 矢川保育園を運営している「くにたち子どもの夢・未来事業団」とは、どのような法人かの説明がありました。矢川保育園のほか、矢川プラス、子育てひろば、幼児教育センターの運営を通じて、子どもを取り巻く人に幅広くアプローチし、子どもの育ちを支える環境の充実と乳幼児期からの保育・幼児教育環境の質の向上に取り組んでいる旨の説明がありました。
- ・ 引き継ぎのため、国立市から職員の派遣を受けていること、事業団採用職員との入れ替えが進み、徐々に派遣職員数が減っていていることの説明がありました。

（2）矢川保育園園長からの報告

- ・ 園目標「みんなで 楽しくあそぼう… 明日も！」をはじめとして、基本的な部分は公立のときから継続している旨の説明がありました。
- ・ 令和5年度の行事やクラス懇談会、職員研修の実績状況や福祉サービス第三者評価の受審状況についての説明がありました。

こんな質疑が行われました

- ・ 民営化前後を比較して、夏祭りやプール遊び、お泊り保育など、行事が変わったのはなぜ？

▶ 夏祭りは、コロナ禍で実施できませんでしたが、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に5類に移行した後、夏祭りごっこという形で再開しました。

お泊り保育は、矢川保育園の先生たち全員でコロナ禍の中でも子どもたちの心に残る思い出になるような取組みをと考えてお泊りをしない「ひまわりの日」として実施してきました。新型コロナウイルス感染症が5類になるときに職員会議等で何度も話し合い、これは矢川保育園の特徴として今後につなげていける行事ではないかということとなり、お泊まり保育には戻さずに継続することにしました。

プール遊びは、昨年再開しましたが熱中症警戒アラートが発表される日が続き、実際にできたのは数えるほどでした。また安全面での課題もあり、今年は、お手紙や保護者懇談会でご説明させていただき、夏の遊びとしてはプールに水を張った遊びを行わないこととしました。

※市内私立園の園長である委員2人から、それぞれの園の水遊びやお泊り保育、夏祭り行事の実施状況について情報提供があり同様の課題を抱えていることなどを共有いただきました。

その他こんな質問や意見がありました

- ・どのような方法で保護者の意見を吸い上げ、回答していますか？
- ・くにたち子どもの夢・未来事業団の職員と市からの派遣職員と立場が違う職員がいるなか、どのように運営に気を付けていますか？
- ・日々のドキュメンテーション（保育記録）や年間指導計画等を今後確認したい。
- ・今後、矢川保育園の民営化をモデルケースにしていくには、他の人が見てもその豊かな物語が伝わるようにしていきたい。



▲事業団事務局長。



▲矢川保育園園長。

国立市ホームページに今後、審議会の議事録、資料等を掲載していきます。二次元コードからご覧ください。



▲矢川保育園の園舎（くにたち子どもの夢・未来事業団 2024法人案内より引用）

次回、第3回国立市保育審議会は、令和6年9月17日（火）午後6時30分から国立市役所3階第1・2会議室にて開催予定です。

（問い合わせ）

国立市 子ども家庭部 保育幼児教育推進課 保育・幼稚園係

電話：042-576-2427（直通）

メール：sec_hoiku@city.kunitachi.lg.jp